

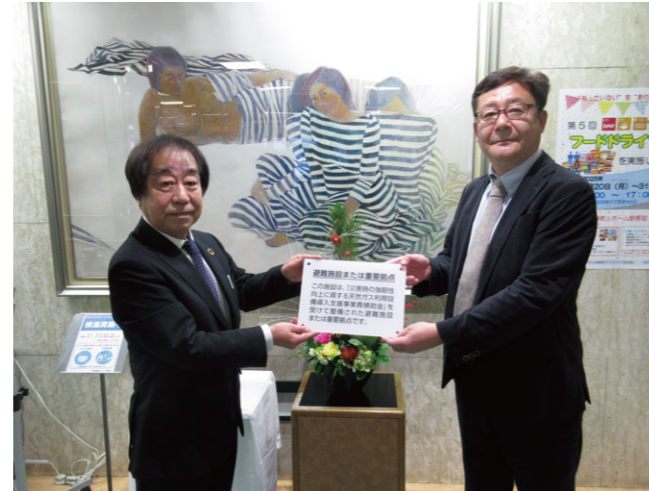
補助金PRプレート贈呈式を実施

社会福祉法人 富山城南会 / 特別養護老人ホーム敬寿苑 / 富山県富山市

富山市と福祉避難所の協定を結んでいる特別養護老人ホーム敬寿苑に対し、「災害時の強靱性向上に資する天然ガス利用設備導入支援事業費補助金」の交付を受けた避難所であることをPRするプレートの贈呈を行いました。



▲特別養護老人ホーム 敬寿苑 外観



▲プレート贈呈(左が富山城南会 高原理事長)

【補助事業概要】

停電対応型ガスコージェネレーションシステム

設置場所: 富山県富山市今泉西部町1番地3 特別養護老人ホーム 敬寿苑

発電設備: 停電対応型ガスコージェネレーションシステム 発電出力:35kW 排熱出力:55.8kW

平時の利用方法: 発電した電気は施設にて全量利用、排熱は貯湯槽に蓄熱し、給湯にて利用

停電時の電気供給先: 井戸/加圧給水/揚水ポンプ 非常用照明、非常用コンセント(各階)

CO₂削減量: 33.8トン/年

燃料: 都市ガス(耐震性に優れたポリエチレン管による導管供給)



◀【補助対象設備と日本海ガス(株)辻石係長】

燃料となる都市ガスを供給している同社。エネルギー診断に基づくシステム選定を行う(株)ネクストプラスと協働し、補助金の提案のみならず、申請から実績報告まできめ細かなサポートを行い、補助金活用における不安を取り除いた。補助事業完了後は共同でプレスリリースを出し、地域に新たな停電対応型の福祉避難所が出来たことをアピール。地元新聞にも取り上げられた。

【補助金活用に関して当時携わった皆さまにお話を伺いました】



左から
都市ガス振興センター
奥村 部長
社会福祉法人富山城南会
高原 理事長
社会福祉法人富山城南会
坂入 事務課長
日本海ガス株式会社
辻石 係長

補助事業の導入経緯について

補助金活用にいたったきっかけを伺えますでしょうか。

(富山城南会 高原理事長) 富山は今まで大きな災害を経験してこなかった地域。しかし全国的に災害が頻発しており、もしもの際の備えが必要と感じていました。元々都市ガスが通っていない地域の施設に勤務していたが敬寿苑は都市ガスが使えます。日本海ガスさんからの提案もあり、停電時電源と水を確保することを目的として停電対応型ガスコージェネレーションシステムの導入を決めました。

申請に際して水を使えるようにした理由を伺えますでしょうか。

(富山城南会 坂入事務課長) 実は私は東日本大震災の被災者なんです。震災後は電気が使えないのと同時に水が使えないことに困りました。その経験により、今回の停電対応機導入に際して照明やコンセントのみならず、地下水くみ上げ・輸送用のポンプを作動させて各階のトイレを使用できるようにしました。要配慮者が実際に避難所で生活をおくることを想定した設備設計を行いました。

通常時のメリットはありますか。

(富山城南会 坂入事務課長) 非常時にしか稼働しない発電機とは違い、普段から発電による購入電力削減と廃熱による給湯で施設に寄与しており、平時のメリットもあるため安心して導入できました。

補助金の申請をした感想

補助金の提案、そして申請のサポートをされてみてのご感想をいただけますでしょうか。

(日本海ガス 辻石係長) 病院、老健施設を中心に平時の省エネ・省CO₂と災害時のBCP強化を図るため、補助金を活用した停電対応型CGSの導入を推進しています。当該補助金は、工事費も含めて補助対象範囲が広く、インシヤルコストを抑えられるとともに、電子申請で手続きも簡略化されており、提案がしやすい補助金と感じています。

今後、補助金を検討されている方に向けてアドバイス

これから申請する人へのメッセージをお願いします。

(富山城南会 高原理事長) この補助金を使って整備したおかげで何かあった際も安心して対応できる。都市ガスは強靱性が高く、導管供給であるため災害時の搬入経路などを考えなくて済みます。都市ガスを使える施設は、ぜひこの補助金を使って災害時の強靱性を向上させてください。